

子どもたちの学びを止めない 9月12日までオンライン併用授業を実施中

市では、8月25日(水)から枚方市立小中学校の2学期を開始しているが、緊急事態宣言下において、登校を不安に感じる子どもたちも安心して学ぶことができるよう、教室でもオンラインでも授業を受けることができる「ハイブリッド型授業」を実施している。原則全ての授業で9月12日まで行う予定で、全児童・生徒に配布済みのいつでも・どこでもつながるLTE版iPadを活用することで、子どもたちが教室にいても、家庭にいても、一緒に学ぶことができる。

これにより、「学びを止めない」だけでなく、先生だけでなく子ども同士のリアルタイムでの「つながりを止めない」日常を目指す。また、「給食を止めない」をキャッチフレーズに追加し、感染防止対策に取り組んだうえで開校することで、給食をはじめとする学校での活動を継続し、子どもたちの健康を守りながら、コロナ禍における子どもたちを支援する体制を整えている。

- ★ 新型コロナウイルス感染症拡大の現状に鑑み、「学びをとめない」「つながりをとめない」「給食を止めない」を目的に、LTE版iPadを活用した教育活動を進める。登校している児童・生徒には、感染症対策を徹底したうえで、授業や給食の提供も行う。家庭での学習を希望する児童・生徒には、すべての授業をオンライン配信することで、学びとつながりを止めない環境を提供する。市教育委員会と学校が一丸となり、児童・生徒がどちらを選択しても「安全・安心」と「学びを止めない」の両輪を目指す。詳細は、別紙「ICT機器を活用した新たな学び～緊急対応版～」を参照。



ICT機器を活用した新たな学び～緊急対応版～

枚方市立小中学校は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、登校している児童・生徒も、密集を避けるため家庭での学習を希望する児童・生徒も、両者の「児童・生徒の安全を守る」と、「子どもたちの学びを止めないこと」をめざします。登校せず家庭で授業を受けられるよう、ICT機器を最大限に活用した新たな学びに挑戦してまいります。

ハイブリッド型授業

密をさけた教室でも

ご家庭の状況に応じて登校しての学習と家庭でのオンライン授業が選択できます

同様の学びをめざします!

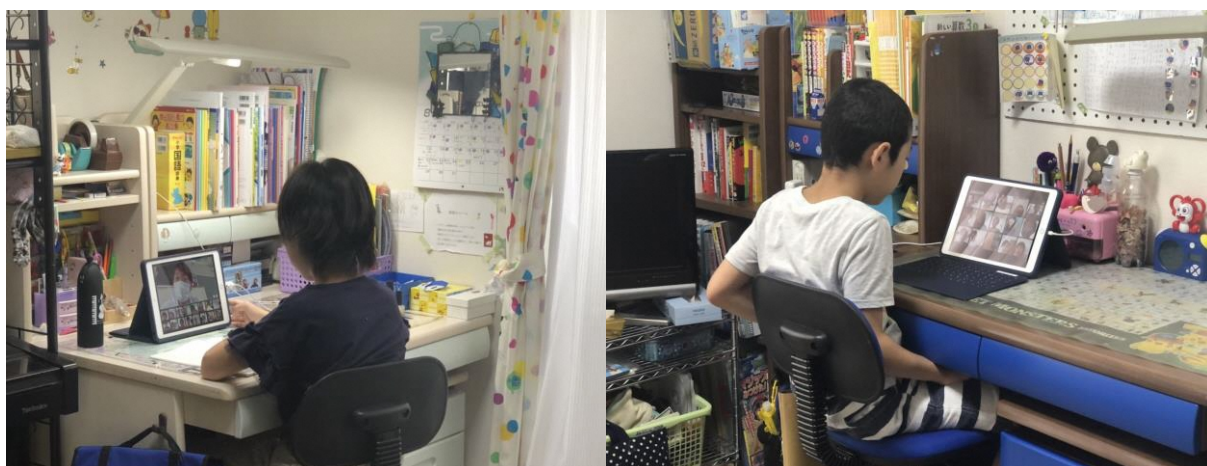
家庭でのオンライン学習でも

- ★ 9月12日までは原則すべての授業のオンライン配信を行う。
※オンライン配信：オンライン通信を活用したリアルタイムの授業の配信、学習用のアプリを活用したワークシートや学習カードの配信や回収など、iPadを活用したオンラインによる学習活動を指す。

★8月25日には、枚方市立小中学校で各家庭から参加できるよう、オンラインで始業式の様子を配信した。



★学校では、各教職員がハイブリッド型授業について創意工夫しながら取り組んでいる。黒板や先生を映すタブレット端末を設置する位置、学習用のアプリを活用したワークシートや学習カードの配信や回収、児童・生徒の集中力や負担なども考慮した授業展開など、学校ごとに工夫しながら取り組むだけでなく、好事例については学校間での情報共有を行いながら進めている。また、それぞれの取り組みを、各校のブログ型ホームページなどを活用して発信するなどにより、新しい形での授業に戸惑いの声もある中、家庭での理解・協力を得ながら進めている。



<お問い合わせ>

学校教育部 学校教育室 教育研修担当 ICT推進グループ

☎ : (050) 7105-8051 FAX : (072) 851-2187

ICT 機器を活用した新たな学び～緊急対応版～

枚方市立小中学校は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、登校している児童・生徒も、密集を避けるため家庭での学習を希望する児童・生徒も、両者の「児童・生徒の安全を守ること」と、「子どもたちの学びを止めないこと」をめざします。登校せず家庭で授業を受ける場合においても、登校している児童・生徒と可能な限り同様の授業を受けられるよう、ICT 機器を最大限に活用した新たな学びに挑戦してまいります。

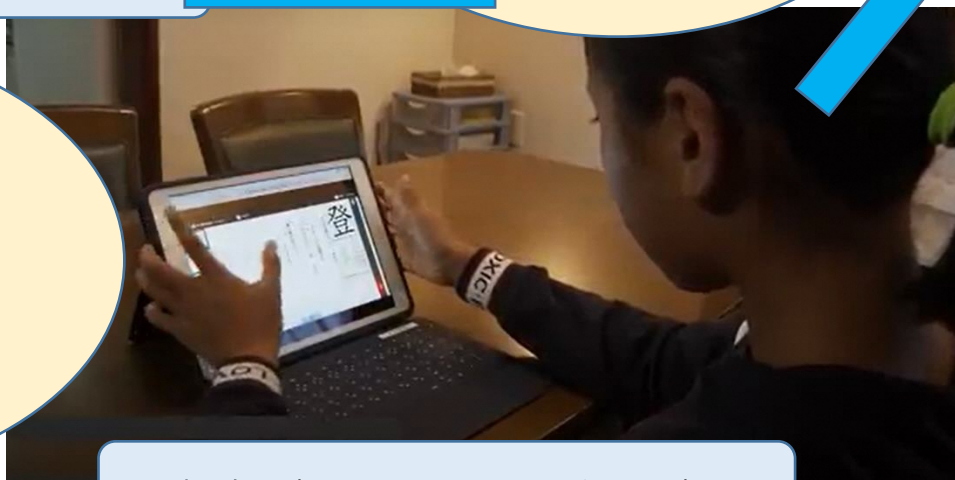
ハイブリッド型授業



密をさけた教室でも

同様の学びを
めざします！

ご家庭の状況に応じて
登校しての学習と
家庭でのオンライン授業
が選択できます



家庭でのオンライン学習でも

学校でも家庭でも
同様の学びをめざします！

【めあての提示】の場面では



先生は説明している様子を、タブレット端末を使い配信します。またタブレット端末から資料や動画の配信を行います。

学校では



教室にいる子どもは黒板やスクリーンを見ながら先生の話の聞きます。

家庭では



家からオンラインで授業を受けている子どもは、iPadの画面から、黒板やスクリーンを見て、教師の話の聞きます。

【じっくり考える】場面では



先生は、子どもたちに教科書を読んだり、タブレット端末から送付した資料や動画を見て、自分の意見や考えを書かせます。

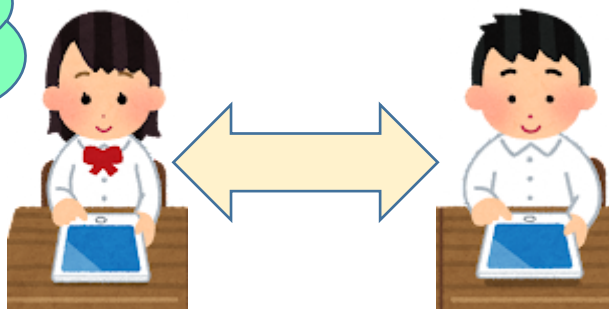


教室にいる子どもはノートやプリントに自分の意見を書きます。書いた意見は先生が確認します。



家からオンラインで授業を受けている子どもは、ノートに書いた自分の意見や考えを写真にとり先生に送ります。先生はiPadで確認します。

学習用アプリを使うことによって、iPad上で学校にいる友達も家にいる友達も互いの考えを共有することもできます



【交流し深める・学び合う】場面では



先生は子どもたちに自分の考えたことを発表してもらいます。



教室にいる子どもは指名されたら自分の意見の発表をします。配信用のタブレット端末があるので、家にいる子どももその発表を聞いて、自分の考えを深めることができます。



家からオンラインで授業を受けている子どもも、iPad を通して自分の意見を発表することもできます。教室にいる友達の意見も聞くことができます。

意見の発表は、iPad を使って小グループで行う場合もあります。



【振り返り】の場面では



先生は、デジタルドリルや授業支援ソフトなどを使い、問題を送信したり、振り返りをさせます



教室にいる子どもは iPad に送信された課題に取り組みます。わからないときは友達に聞いたり、手をあげて先生に質問ができます。



家からオンラインで授業を受けている子どもは、チャットで友達に聞いたり、iPad から先生に質問ができます。

iPad から問題を解くことで、授業中に解けなかった問題も後でじっくり考えて提出することができます。先生は放課後に職員室から子どもの回答を確認ができます。



iPad を使って送信した振り返りは蓄積が簡単で、自分の成長が振り返りやすくなります。